

# 新庄の長溝

岩政次郎右衛門は、宗安岩政家の初代、新庄第4代在任中に、新庄長溝の開発に身を投げ打ち、あつた。1689(元禄2)年に3年の歳月を費し、黒杭ハゼ7谷より余田堰に至る延長約7km(当時の灌漑用水路)を完成させた。それまで干害に悩まされてきた農民は、次郎右衛門を「水の神」とあがめるようになった。300年以上経た、現在でも長溝は使われており、新庄の水田を潤している。墓前では毎年8月19日長溝祭が行われている。また5月には溝を流す作業を毎年欠かさず続けている。



① 777-ランドの口南



② 上り屋敷



③ 長溝公園そば



④ 法師田川との合流地



⑤ 大倉



⑥ 黒都城(墓)



⑦ 贈位記念碑



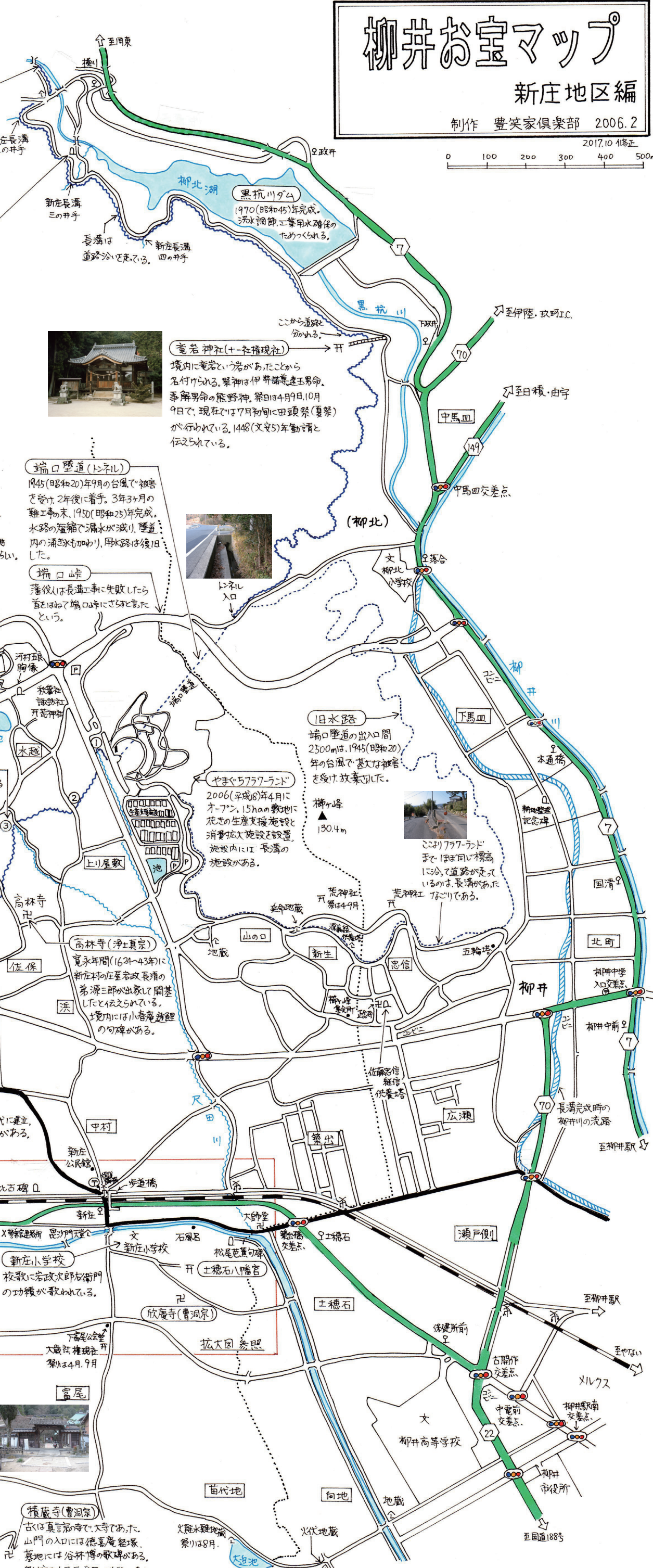
新庄長溝 新一の井手

新庄へ農業用水を導くための取水口。黒杭川ダム建設に伴い、460m上流の現在地に移動。黒杭川に流すに利水没。



長溝「一」の井出跡(石碑)

この碑の下あたりにがもとの取水口で、黒杭川ダム建設時に移動。1976(昭和51)年に長溝水利組合によって建立された。



# 柳井お宝マップ

新庄地区編

制作 豊笑家倶楽部 2006.2

2017.10 修正  
0 100 200 300 400 500m

至光市塩田

至市塩田

至市塩田

至市塩田

至市塩田

至市塩田

至市塩田

新庄地区をもっと知りたい時は、以下の文献をごらん下さい。  
『長溝、三百年記念誌』新庄長溝水利組合、1989年  
『柳井市新庄地区史』柳井市史編纂委員会、1959年  
『新庄の祠や地蔵尊(柳井市郷談会誌第17号)』西富敏久、1993年

この地図は、柳井市長の承認を得て平成14年12月作成の柳井市都市計画図及び地形図を使用したものである。(承認番号平成18年2月8日柳都第79号)

新庄地区をもっと知りたい時は、以下の文献をごらん下さい。  
『長溝、三百年記念誌』新庄長溝水利組合、1989年  
『柳井市新庄地区史』柳井市史編纂委員会、1959年  
『新庄の祠や地蔵尊(柳井市郷談会誌第17号)』西富敏久、1993年

この地図は、柳井市長の承認を得て平成14年12月作成の柳井市都市計画図及び地形図を使用したものである。(承認番号平成18年2月8日柳都第79号)